

42回展 良かった点、要改善事項（改善事項は右寄せ、太字）

末尾NOは改善事項提案参考の為 ◎は特に要議論

<p>役割分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・午前、午後の交替時に若干空白も見られたが、担当の努力で支障なく実施された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8・9室の一般出品者とのコミュニケーションのための方法を考えたい。会場係にもう少し委員がいた方がいい ・ 会場、はがき販売の係がなかなか埋まらず土屋氏（奥様）に助けられた。改善の余地あり。 ・ 分担が早めに決められてよかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員だけの運営は限界。各支部より「運営サポーター」の仕組み作りを。 ・ ポストカード対応の担当をおいてほしい。 ・ 全委員が13日間に、最低2日位は休息できるシステム、運営が必要。（同意見 (11月委員会です承) ・ 担当しないとわからないことがたくさんある。 ・ 担当者は皆、粛々と行動していた。 ・ 各自均等に配置され良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 数年先を考え若い人（60代以下）の登用を。 ・ 概ね良好。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業が一部の人に偏らないような工夫を。 	<p>1 ◎ 2 3 ◎ 4 5 ◎ 7 8</p>
<p>搬入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出書類の記入不備があったが、担当の電話問い合わせ等でスムーズに出来た。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「運営サポーター」がいれば担当出来る仕事がある。東美分担の領域を明確にし、増やして戴く。 ・ 各部屋への振分け作業が慎重の余り若干偏りが生じたが、全体的に概ね従来通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付テーブルの人が少ないのでは？ ・ 工芸部は4人で一人二役をこなしていた。 ・ 工芸の置き場所、撮影の関係で移動するなど問題あり。 ・ 受付に女性陣が並び他の会にはない新鮮さを感じた。対応が非常に良かった。 ・ 事前打ち合わせ通りで、混乱なし。 	<p>9 ◎ 10 11 12</p>
<p>審査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現審査方法では入賞させたいレベルの作品が二番手にあった場合入賞が難しい。 ・ 現審査はレベル一辺倒のきらいがある。「真面目」だけでなく別の視点も必要（中野先生からもご指摘）。 ・ 多様な意見を持つ審査員の入れ替え等も考えては？ ・ 技術に重点を置き過ぎにみえる。自由な独自の発想による作品が少なかった。 ・ 多数決とは言え、明らかに仕上がっていない作品が入選したことは、当会が無審査のように見えます。また会員にまでなっているのに、大変レベルが低いと思う作品もあり残念でした。一定のレベル、コンセプトは必要でなぜこのような事態が起こるのか、審査の基準を今一度見直す必要を感じる。準会員、会員推挙もしかりです。 ・ 小品部門審査が加わったため時間が遅れた。効率を考えたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査事務マニュアルで引継ぎがスムーズに。 ・ 入賞率 絵画13%、工芸25% 要是正。 ・ 絵画と工芸の入賞率に倍近い差が出ている。（絵画261点で受賞35点、工芸51点で受賞13点） ・ 東美スタッフの絵画のあげ方、台に置いての見せ方を工夫したほうが良い。読み上げ方にも改善の余地あり。 ・ 多数決による審査は無難な作品の受賞が多くなる。特色ある審査方法を望みます。 ・ 工芸に関して…会員数が少ないので行き詰まり。人数を増やすしかない。 ・ 審査員が毎年何名か入れ替わるのは良い。現状プラス抽象的、工夫された斬新な作品に興味を持てる審査員を。 ・ 受賞者が毎年同じ顔ぶれ…佳作、スポンサー賞は準会員、会員優先で。僅かの差で取れない人に賞を。 ・ 第1次審査で高得点の作品が残らないのは如何なものか。 <p>・ 審査集計表の大きさはあれでよかったのか。</p> <p>・ 審査に伴う集計が正確でスムーズだった。</p>	<p>13 ◎ 14 15 16 17 ◎ 18 19 ◎ 20 ◎ 21 22 ◎ 23 24 25 ◎ 26 ◎</p>

<p>展示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整然と展示され良かった。見やすいとの一般からの声を複数戴いた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小品部門も新設され展示数が増加の場合は、出品は1点にすることも検討を。 ・ バランス良く展示出来た（工芸）。 ・ 第1室は従来油彩中心だったが、水彩、日本画が展示され改善された。 ・ 日本画、水彩画も1室に入ること、4室の飽和状態が解消され見やすくなった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6室入口付近に「桜」の作品2点を置いたことは、それぞれの個性が消されてしまった感じがする。展示の配慮を。 ・ 小作品は作品数、レベル、展示効果もあり充実してきた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャプションの曲がり、メクレが多々あった。ひつつきむしの付け方の標準化。 ・ 小品部門の表示板、展示意図が明確で良い。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査員の表示が目立ち過ぎ、違和感あり。 ・ 1室に100号が集まり過ぎ。他室が寂しかった。 ・ 大作が多く、見ごたえがありました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャプションに油彩、水彩等の表示がほしい。 ・ 1室を見て会のレベルの高さを感じたと声をいただいた。日本画、水彩があったのも効果的だった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトルの記入ミスあり。 ・ 一般の展示（8、9室）の展示数は増減が大きいが、今回は大変良かった。 ・ 1、2、5室の大幅な展示入れ替えとなったが、PC処理、展示もスムーズに出来た。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8、9室の展示は難しい。受賞作品が並びがち。二段掛けでいい作品が上段で残念。複数又は代表が決める等工夫を。 ・ 小品のキャプションは小さく出来ないか。 ・ 2点ものがバラバラに展示されてる（10点位あり） ・ 東美の運び込みが遅れ気味だった（集荷？）。 ・ 大変良かった。（多数） 	<p>27</p> <p>28</p> <p>29</p> <p>30 ◎</p> <p>31</p> <p>32 ◎</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>35</p> <p>36 ◎</p> <p>37</p>
<p>表彰式 懇親会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風接近による大幅な時間縮小の中、表彰式、懇親会とも無事終了できて大変良かった。急な対応なのにまとまった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風によるとはいえ、受賞者の欠席多数は残念でした。時間短縮は残念だった。 ・ 式進行の段取り、賞状授与等にもたつき感あり、事前の意思統一を。（来賓挨拶等省略しているため余計目立った） ・ 受賞者にリボンをつけていただいては？（おめでとうございます、と言ったらお連れ様でした） ・ 案内人がいて流れがスムーズだった。 ・ 受付、会費徴収、名札作成などほぼ万全だった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 名札に問題発生、改善の余地あり。 ・ 名札ケース、名札の準備等は早めに点検を。（前日に昨年使用の名札入れ無しが判明、古いケースも不足で慌てた） ・ 懇親会参加者把握の担当を置いてほしい。 ・ 会費先払い分はいかがしたか。 ・ 台風とはいえ会費先払いして参加出来なかった人には、何割かの返金を考慮すべき。（11月委員会にて結論済） ・ 他の会と比べ会費が少し高い。参加者が多くなれば安くなる。その為にも日の目を見ない会員・会友に賞を。 ・ 台風接近のハプニングの中、適切な判断で混乱を避けられたことは拍手！ 	<p>38</p> <p>39 ◎</p> <p>40 ◎</p> <p>41</p> <p>42</p> <p>43 ◎</p> <p>44</p> <p>45 ◎</p> <p>46</p>

搬出	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回展があるため、搬出作品が少数で、滞りなく終了。 ・奥の部屋の他団体とのバッティングがあったが、問題なし。 	
会場管理	<ul style="list-style-type: none"> ・支部応援者の対応は問題なく実施出来た。・支部応援者の交通費（経路も）を事前に把握してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・どの部屋に何を展示しているかを示す案内板で、1室が「油彩画」のままだった。 ・はがき売り場近くのエレベーターから来て入口と間違える人が何人かいた。矢印表示などが欲しい。 ・5室から6室への移動がスムーズではない。 ・キャプションの張られ方をチェックしたり、「小品部門」の表示を設置したりの努力をしていたことは良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・会場に客用の椅子を。 ・会場係以外の方が回っていてよかった。　・もう少し人数を多く（会場が寂しくならないよう会場係とは別に） 	47 ◎ 48 49 50 51 ◎ 52 ◎
ギャラリートーク	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の部屋から開始する方式が定着し良い。 ・芳賀先生の説明が丁寧で参加者との一体感が定着してきた。2日間とも参加者多数、芳賀先生の説明が的確で大満足。 ・指導が丁寧で分かりやすい内容だった。（同意見多数） ・8，9室で一般出品者からの説明を求める声がほとんどなかった点、対策が必要かも。 ・普通 <ul style="list-style-type: none"> ・芳賀先生以外に、審査員、代表が行ってもよいのでは。 ・ややマンネリ感あり。作者のトークも検討しては？ 	53 ◎ 54
工芸ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者から子供まで参加出来、好評だった。・毎年続けてほしい。 ・机、椅子など、実施者に負担のないよう準備したい。大盛況・客の人数をコントロールする人が必要か。 ・楽しさと賑わいが会に花を添えてくれた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは絵画と工芸のどちらか一つで良いのでは？ ・大変良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・前宣伝が足りなかった。（11月委員会で結論済） 	55 56 ◎
絵画ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者も多く、好評だった。・工芸・絵画ともワークショップの宣伝不足、対策を。（11日月委員会で結論済） ・絵を描きたい人、新日美に興味ある人にも良い刺激になった。絵の作品や写真での説明がもっとあっても良かったか。 <ul style="list-style-type: none"> ・最後に色を付けた実物が見たかった。 ・密度が濃く分かりづらいところもあったが、大変良かった。 ・素晴らしい話だった。会が身近に感じられた（外部知人談）。 	57 58
写真・図録	<ul style="list-style-type: none"> ・業者との連携が密、短期間でミスなしの図録が出来た。撮影代は2000円と安く全員受入れは良い。 ・複数人でのチェック、確認でエラーがなくなった。 ・短期間での図録作成にも拘らず構成、写真の大きさ、色合い共に大変良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・100号作品と10号作品では、縮小率の関係で10号が良く見えてしまう。小品を別ページにするか、サイズを変える等工夫を。 ・大作（150）タテの図録は気の毒だった。工夫できないか。 ・2点出品者の掲載作品変更（受賞作へ）が出来て良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・図録代と撮影費用と一般への販売などの関係を分かっていない会員が複数人いた。 	59 ◎ 60 61
事務処理	<ul style="list-style-type: none"> ・支障なく実施出来ていた。・スピード感があり、確実に良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・データベースソフトの導入での一括管理が望まれる。 ・事務作業は大変そうだが、何時・何をやるのか分かれば手伝える。業務内容をハッキリさせ、分担を決めたらどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの現場に即したアウトプットの工夫画像もう少し出来たら良いと思う。 ・事務処理のシステム化について一現在のエクセルでは難しい。（11月委員会で結論） 	62 ◎ 63 64 65 ◎

<p>その他 (主に改善点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会期中の会員からの各種問い合わせ対応を分散してほしい。(事務局次長を置くなど) ・入賞者の顔ぶれがいつも同じとの意見が毎年あり、賞に入らない2番手の作者に対する配慮を行う時期に来ていると感じる。 (二年続けて賞を取った人は次期休みなどのルール作りも必要な時期に来ている。) ・今後出品数の減少が予想される。5年後の新日美を想定し課題を洗い出し、対策を講じる必要あり。 ・もし台風が、搬入、審査、搬出だったらどう対処するのか、鉄道運休の場合も含め考えておく必要がある。 会期が12月だったら台風はほぼないでしょう。 ・作品が全般的に小さくなった感じ。100号位の作品を出品してほしい。 ・来場者が持参した「案内はがき」をこれまでまとめて送付してくれていたが、今回は？(令状が出せて助かっていた) ・高齢化している会員が今後も活躍できるか不安。若い新人を増やすこと。 ・小品の部、賞が多すぎて会場を見ずらくしている。賞を減らすか、もう少し作品数の増を。小品の2段掛けは可。 ・「作画ステップ」の話の中で「作品に対する気持ち、心の入れ方」について再認識しました。 ・小品展、規格厳守を。 	<p>66 ◎ 67 ◎ 68 ◎ 69 ◎ 70 ◎ 71 ◎ 72 73 74 75 76 77 ◎</p>
------------------------	--	--